

夢、私たちに。

わたしのひとこと



自然に感謝して

八方 高橋 麻衣子

平成28年も数日で終わりですね。白馬に来て、30年近く経ちます。バイト、結婚、出産、子育て、あっという間に過ぎ、振り返って後悔もありますが、病気もなく幸せでした。

私は、ここ数年、依存症？それは、ウォーキングとジョギングです。自然の中、四季折々の色、白馬三山、川のせせらぎ、季節の花、山のアップダウン、何だか人生みたい。この時間が心も体も最高です。大自然に感謝です。

ところがこの自然が地震、台風、強風など災害までもたらしめます。人間は、自然には勝てません。年末ですが雪不足です。雪が降ったら、当たり前でなく、自然に感謝の心を忘れてはいけません。

何もなければ、私は、あと30年ぐらい生きていでしょう。おいしい水、空気、美しい風景、与えられた環境に感謝して、30年後は、おおらかな人間になりたいです。



横のつながり

新田 中村 豊

一昨年までは白馬村から離れ、県内各地を回り、ようやく村内の職場で仕事ができるようになりました。顔なじみの中で働くことは照れくささや緊張感がありましたが、村のために役に立ちたいという気持ちは一層強く感じるようになり、ようやく白馬村民になった、ということでしょうか。

村の中で職場の仕事や地区の仕事をしていると、とかく気になることや改善したいことばかりが目につきます。しかし、後から割り込んできて、村の批判ばかりしては、役に立つより、お邪魔な人間になってしまうので、まずは批判するよりも自分でできることを一つ一つやっていくことが村のためになることだと思います。

そして、視野を広げ、様々な問題も、横のつながりで対応しなければ、村のためにはならないと感じています。これからも横のつながりを大事にし、できることをやっていきたいと思っています。



ふるさとの文化

瑞穂 田中 麻乃

スキーシーズンが到来し、休日は子供たちと一緒にスキーに出かけています。雪が降るまでは、マウンテンバイクを楽しんでいました。

白馬村に移住してきて3年が経ちました。「せっかく山岳リゾートの白馬に移住してきたんだから、アウトドアスポーツを子供たちにさせたい」と思ったのは、子供たちが自分のふるさとの文化や魅力を人に伝えられるようになって欲しいからです。

私は沖縄出身で地元が大好きですが、マリンスポーツもできないし、方言も話せません。出身地の文化を人に伝えられないことが残念で、沖縄にいる時にもっと触れておけば良かったと後悔しています。

出身地の魅力を語れるように、白馬の子供たちが白馬の魅力を実感して世界に発信できる伝道師ともなえたらいいなと思っています。

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとって良き一年となりますようご祈念申し上げます。

議会では、本年4月の施行を指して議会基本条例を検討中です。議会のあるべき姿勢を明らかにするとともに、多様性のある村づくりのために、皆さまの声をさらに生かす議会を目指しています。そのためにも、常に改革の姿勢、積極的な情報共有が求められていると思います。

議会だよりは、限られた紙面ではありますが、本年も、できるかぎりたくさんの方の議会の様子をお届けしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

(篠崎 久美子)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 北澤禎二郎 |
| 委員長 | 伊藤まゆみ |
| 副委員長 | 松本喜美人 |
| 委員 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 津滝 俊幸 |
| 委員 | 太田 正治 |
| 委員 | 太田 伸子 |
| 委員 | 篠崎久美子 |